

先史・古代の徳島について

— 弥生時代の「朱」と最新の発見に迫る —

令和8年 **1/31** (土)
13:00~16:00

明治大学 駿河台キャンパス
アカデミーホール (3階)

入場無料 (要事前申込)

講師情報



石川 日出志(イシカワ ヒデンシ)
明治大学名誉教授
専門分野: 日本考古学・弥生時代



山口 雄治(ヤマグチ ユウジ)
徳島大学大学院
社会産業理工学研究部 准教授
専門分野: 日本考古学・縄文時代



植地 岳彦(ウエチ タケヒコ)
徳島県立鳥居龍蔵記念博物館
企画・学芸担当 課長補佐
専門分野: 保存科学

徳島県には3,000を超える遺跡が存在し、数多くの遺物が発見されています。

中でも、**若杉山辰砂採掘遺跡** (阿南市) は朱の原料である「辰砂」が弥生時代に採掘されていたことがわかる**全国唯一の貴重な遺跡**です。

2023年には出土石器が**国の重要文化財**に指定され、さらには、**国内最古の「火入れ法」の跡**が発見されたと発表されるなど、徳島は今、日本の古代史を書き換える発見の最前線にあります。

今回の連携講座では、この発見の地にフォーカスし、当時の人々の生活や文化を深く紐解きます。

申込は
こちらから



オンデマンド受講の
申込は**こちらから**
(収録動画のストリーミング配信)

●お問い合わせ先——

明治大学リバティアカデミー事務局
平日10:30-19:00 / 土曜10:30-15:30 (日・祝休業)

TEL: 03-3296-4423

Mail: academy@mics.meiji.ac.jp